

# 世界たすけのようぼくとして

— 天理教校への進学について —

学校法人天理教校学園  
理事長 久保善平  
天理教校学園高等学校  
校長 中田 一

喜び、感謝、ひのきしん。この三つを生活信条に掲げております本校の教育方針は、第一に「道の後継者、並びに、将来の国内外布教に寄与する人材の育成」にあります。

教えに基づき考え行動できる人間に育ってほしい。この道の教えの素晴らしさを一人でも多くの人に伝え、自らも人をたすける心、『たすけ一条』の精神をもって人生を力強く生き抜く人に育ってほしい。そして、それぞれの徳分を活かし、有為なるようぼくとして道のご用の上に、また社会で活躍できる人材に育ってほしい、という願いのもと、その基礎を養うところに本校設立の理念があります。

そうした上から、本校では2年次からは群・コース制を採ってそれぞれの進路に対応した教育を実施してきております。そして、卒業後はそれぞれが在学中に身につけた基礎の上に、さまざまな分野で活躍するとともに、一人でも多く天理教校に進学して研鑽・修養する機会を得てほしいと願っております。

天理教校は、明治33年（1900年）に、「信心堅固にして而かも学識徳行兼備せる教師」（開校式における初代真柱様のお言葉より）の養成を目指して設立された本教初の教育機関であります。天理幼稚園から天理大学にいたるまで、現在おちばにありますすべての教育機関の出発点であり、これまで百有余年の間に幾多の変遷を重ねながら多くの布教師を輩出し、この道の発展を支え、世界たすけに寄与する人材を送り出してきた伝統ある学校であります。

現在、天理教校には本科（研究課程、実践課程）、専修科の二科があり、受験資格は本科研究課程が大学卒業、本科実践課程が大学卒業および専修科卒業、専修科が高校卒業となっております。いずれも修業年限は2カ年です。

天理教校の建校精神をうけて設立された本校の卒業生が、それぞれの徳分を活かして一人でも多く、さらに道を求めて天理教校の門をくぐり、将来に向けての飛躍を誓ってくれることを願ってやみません。

本校の基本理念、教育方針に照らして進路選択の際のご参考にしていただければ幸いです。